

科目名	保育実習Ⅲ					単位	2.0
担当教員	藤林 清仁						
授業形態	実技・実習	開講期間	随時	配当年次	4	授業番号	9110

●授業のテーマ

子どもたちへの発達保障について実践を通して学ぶ

●到達目標

保育所以外の児童福祉施設での実践を通して役割や機能を学ぶ。

●学習内容(授業概要)

保育実習Ⅲにおいては、次の四つのことを学びます。第一に、児童福祉施設等（保育所以外）の役割や機能について実践を通して、理解を深める。第二に、家庭と地域の生活実態にふれて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。第三に、保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。第四に、保育士としての自己の課題を明確化する。施設における支援の実際では、受容し、共感する態度、個人差や生活環境に伴う子どものニーズの把握と子ども理解、個別支援計画の作成と実践、子どもの家族への支援と対応、多様な専門職との連携、地域社会との連携を学びます。

●学習内容(授業計画)

児童福祉施設での10日間実習において、次のことを学びます。

1. 児童福祉施設等(保育所以外)の役割と機能
2. 施設における支援の実際
  - (1) 受容し、共感する態度
  - (2) 個人差や生活環境に伴う子どものニーズの把握と子ども理解
  - (3) 個別支援計画の作成と実践
  - (4) 子どもの家族への支援と対応
  - (5) 多様な専門職との連携
  - (6) 地域社会との連携
3. 保育士の多様な業務と職業倫理
4. 保育士としての自己課題の明確化

●準備学習・事後学習の内容

実習先施設で生活する子どもたちや施設のことを学んでおくこと。

●成績評価方法・基準

実習についての施設の評価 80%、実習日誌 (20%)

●テキスト(必携)

≪No.1≫書籍名：保育士をめざす人の福祉施設実習、著者名：愛知県保育実習連絡協議会 伊藤貴啓 小川英彦、出版社：みらい、販売先：Do

●参考文献／その他  
授業時に指示します。

●履修上の注意  
特になし。